二〇二二年　友の会活動の　おさらいと　総括

前号までの友の会だよりに掲載しました内容と重複する箇所もありますが、昨年一年間の活動の振り返りと総括を行ってみたいと思います。

昨年二〇二二年も、第六波・第七波の感染拡大等、新型コロナウイルスの脅威に明け暮れた一年でした。特に、第七波では、ピーク時の新規感染者数が日当り二六万人（全国規模）に達してしまいました。

その後、減少に転じたものの、昨年十一月過ぎからは再び増加傾向が続き、本紙面編集作業時の十一月中旬には第八波の感染拡大が危惧される状況となる等、収束への先行きは依然不透明な状況が続いております。

我々友の会も、一昨年までと同様、コロナ禍の影響を受けましたが、当初の活動計画に近い諸活動を昨年一年間推し進めることができたと受け止めております。

三重工場納涼祭り中止の為、参加が叶わなかった行事もありました。グランドゴルフ大会及び三重工場見学会は、実施期日の延期を余儀なくされ年度をまたがっての開催となってしまいました。

ただ、当会の最も重要な行事である定期総会を三年振りに開催することができたことは、特筆すべきことであったと認識しております。

以下、実施できた活動・行事を中心に振り返ってみます。

■グランドゴルフ大会

二〇二一年度行事として二〇二二年三月に開催する計画でおりましたが、ヘルスプラザ塩浜がコロナ禍により使用できず、四月九日（土）に延期の上、同会場にて三七名の会員参加を得て実施しました。

当日は好天候に恵まれ、和気あいあいながらも熱気溢れる大会となりました。

■第四四回定期総会

二〇二二年五月二八日（土）四日市市文化会館に於いて、三年振りとなる定期総会を一二〇名を超える会員の出席のもと、密にならない席の配置、検温、手指の消毒、マスク着用、会場の換気等、感染予防対策を講じつつ、予定通りの議事進行を執り行うことができました。ただ、コロナ禍の中での大会の設営・運営面に関する改善点・反省点も幾つか顕在化しました。

次回以降の定期総会に活かしていきます。

■三重工場見学会

工場のご理解を得て、二〇二一年度より隔年にて実施していくこととし当初一昨年十月頃の開催を計画しておりましたが、コロナ禍により翌年三月に延期。更なる延期を経て二〇二二年六月十五日（水）に会員二九名の参加を得て二〇二一年度行事として実施する事ができました。

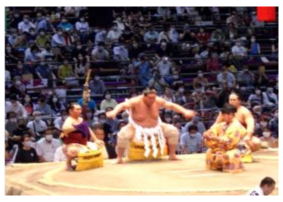
■趣味の会連絡会議

各趣味の会代表者と役員による連絡会議を年一回毎年開催しています。

二〇二二年度は、七月十九日（火）に開催しました。コロナ禍の影響のみならず諸事情により、活動に凹凸が生じてはいますが、当会の主要活動の一つである各趣味の会の活動継続出来るよう、相互に情報交換・意見交換を行いました。

■大相撲名古屋場所観戦

二四名の参加にて七月二〇日（水）に実施しました。参加者からは、熱戦の連続で大相撲の迫力と醍醐味を充分味わうことができたとの感想を頂いております。



■健康ウオーキング大会

これまで降雨により二年続けて中止。一昨年グランドゴルフ大会と隔年開催に改めたことも重なり四年振りの開催となりました。十月十六日湯ノ山三滝川周遊コース八キロを会員十八名でウオーキングしました。当日は、秋晴れの好天に恵まれウオーキングと温泉入浴をして健康づくりをしました。

■工場地域美化活動参加

十二月十日に労働組合主催の三重工場周辺の地域美化運動に友の会役員を中心に、参加しました。

■入会二十年・十年の節目を迎える会員への記念品の贈呈

永く当会会員として継続して頂き、当会の目的である「豊かな熟年生活向上」への一助として役立てて頂く為に、入会十年・二十年の節目となる年度に記念品をお贈りする取組みを二〇二一年度から開始しました。

二〇二二年度は、入会二十年「十八名」、入会十年「十一名」の会員の方々に記念品を贈らせて頂きました。

入会二十年対象者

いなべ市　伊藤 しま子さん
桑名市　加藤 英樹さん
三重郡菰野町　増田 得夫さん
四日市市　一海 利孝さん　去川 則夫さん　牧田 英利さん　小林 功さん　原岡 靖さん　青木 紀幸さん　伊藤 雅樹さん　河田 詔二さん　平尾 一久さん　三浦 礼子さん
鈴鹿市　向井 豊さん　宮崎 秀夫さん　日比 正徳さん　吉富 清さん
津市　盛武 安芳さん

入会十年対象者

いなべ市　山本 伸一さん
四日市市　笠井 幹雄さん　斉藤 守さん　佐藤 以登子さん　服部 房夫さん　平塚 幸夫さん　上平 健さん　利見 昇さん　信国 辰男さん
鈴鹿市　坂崎 勝治さん　加賀 良博さん

■会員有志による活動への支援

入会十年・二十年と同様、二〇二一年度から取組みを開始しました。

これまでの実績としては二〇二一年度「一件」の申請、二〇二二年度「二件」の申請（二〇二二年十二月末時点）となっており、極めて低調な結果となっております。

下段の『友の会からのお知らせ』欄に本取組みの趣旨・狙い等を含め、改めてPRさせて頂きます。是非、会員各位から数多くの申請が寄せられますことを期待しております。

当面の行事計画案

★コロナ禍の状況により、行事等の中止或いは延期とさせて頂く場合がありますが、次の活動を計画しております。

●鈴鹿工場見学会の開催について

二〇二二年度の行事として「鈴鹿工場見学会」を計画しておりましたが、三月までの間に開催することがコロナ禍の影響により難しくなりました。

現在、年度をまたいでの開催となってしまいますが、四月から六月の間で開催ができるよう鈴鹿工場と相談中です。

会員の皆さんにご案内できるようになり次第、改めてお知らせさせて頂きます。

●『長寿祝い会員宅へのお届け』

昨年満八八歳の米寿を迎えられた会員の方に会則に定めるお祝いをお贈りします。（一月末までに役員がご自宅までお届けにあがります。）

尚、米寿を迎えられた方々のお名前を第四面に掲載しております。

●『第四五回定期総会』の開催

設立四五年記念総会となります。詳細は、次号の友の会だより等にてお知らせいたします。是非出席ご予定ください。

【期日】令和五年五月二四日
【会場】四日市市文化会館
【開始時刻】午後二時より
【内容案】第一部　定期総会
第二部　アトラクション
第三部　懇親会

●『大相撲名古屋場所観戦』の開催

同封のチラシをご覧頂き、申込みください。

【期日】令和五年七月十九日
【定員】七枡二八名
（家族友人含む先着順）

●友の会だよりの発行

一一六号　四月
一一七号　八月

友の会からの『お知らせ』❣

●「会員有志による活動支援」の仕組みを是非ご活用ください。

会員の皆様は、趣味・嗜好、或いは、年齢・体力に応じ、何がしかの楽しみを持ちながら、豊かなシニアライフの日々を送られていることと思います。

現在、趣味の会の各種活動に対し、当会の財政から活動に対する支援（補助金支給）を年一回実施しています。

二〇二一年度より取組みを始めた「会員有志による活動への支援」は、その対象範囲を広げ、一人でも多くの会員の方々に当会からの支援（補助金）が受けられるようにしていこうというものです。

支援が受けられるようになる為には、一定の条件と所定の用紙にて会員の皆さんから申請して頂く必要がありますが、是非多くの会員が積極的にご活用頂けるよう願っております。

補助金の支給は一回限りではなく、補助の対象となる活動を継続し、毎年申請頂けるのであれば補助金も毎年受給できる仕組みとしています。僅かな金額（一人五百円）ではありますが、塵も積もれば山となる如くです。三年・五年のスパンで考えてみてください。価値のある仕組みと思いませんか。是非ご検討ください。

●ホームページ関係に関する会員様へのお知らせ

まだまだ、ホームページを活用いただいている方が、少ない為、四面に【スマートフォンで友の会だよりを見てみよう！】を掲載させて頂きました。よろしくお願い致します。